

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-550-0747 FAX.042-550-0059



世界に希望を生み出そう
ロータリアンの心に火をつけよう “Get the Joy of Rotary”

東京秋川ロータリークラブ
2023-24年度 33号

2024年4月11日
第2368回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	47	30	16	1	65.22%

本日のテーマ

会員卓話 橋本 健司 会員

次回以降のプログラム

4月 18日(木) イニシエーションスピーチ 早野 和也 会員
4月 27日(土) ロータリーデー

第2367回の出席率訂正 会員47名 出席33名 メーカップ4名 欠席9名 免除1名 訂正出席率 80.43%

会長方針

希望ある未来に向かって 新しい一步を! ~One step to a lively club~

本日のお客様

・西の風新聞 伊藤 社長様

橋本会員の卓話ということで、楽しみに参りました。よろしくお願ひいたします。

・あきる野青年会議所 今年度副理事長 大薗 史明 様

昨年6月に秋川河川公園で行われました東京ブロック大会、そして11月に東京サマーランドで行わせていただきました秋川流域花火大会に、ご協力ご支援賜りまして誠にありがとうございました。会を代表しまして御礼申し上げます。

5年ぶりとなる第6回のわんぱく相撲の開催報告 5月11日(土)秋川場所 あきる野体育館(あきる野市)にて開催。

相撲大会を通じて、地域連携の大切さを学び、子供たちに相手との思いやりを育む機会を提供したいと思います。



伊藤 社長 様



大薗 史明 様



会長報告 齊藤 章浩 会長

・女子ソフトボールチームの大会結果の報告。

女子ソフトボールチームが3月24日(日)から27日(水)にかけて開催された全日本小学生女子ソフトボール大会に出場しました。雨天のため3日間しか開催されず、準々決勝までしか行られませんでしたが、24日(日)に静岡のチームに勝利し、27日(水)には岩手県と兵庫県のチームに勝利し、準々決勝まで勝ち進みました。

・ロータリークラブの今後の活動予定について報告。

来週から地区研修協議会などが始まり、次年度に向けた活動がいよいよスタートし活動の準備が進められています。『次年度に向けたロータリークラブの活動に備えていきましょう』

・当クラブでは、4月27日(土)にロータリーデーという大きなイベントを控えており、会員の協力が求められています。また、このイベントの協賛企業が70社近く集まり、目標金額を達成できました。



“WEEKLY REPORT”

2023-24年度 33号
第2368回例会

幹事報告 坂谷 充孝 会長

- ・台湾東部で地震が発生、マグニチュード7.4ということで死者も出ているということで心よりお見舞い申し上げる次第でございます。地区より台湾東部地震災害支援金をお届けしようということでご案内が来ましたので、本日これよりこちら募金箱をお回しさせていただきます。金額は任意ということではございますけれども、1人1000円以上のご支援をいただければというご案内が来ており、そのことを含めて皆様の心を入れていただければと思います。
- ・(訃報) 2580地区現年度の多摩分区幹事 安部 琢正 様が3月23日永眠(63歳)なお故人の生前の意向により葬儀はお身内でなされたということで、香典・供物等をご辞退させていただきます、ということをご家族の方より承っております。生前のロータリーでの活動に対しまして敬意を表するとともに謹んで、お見舞い申し上げます。

—SAA委員会— ニコニコ 発表（竹内 昭宏 君）

合計金額 9,000円

- ・進藤 晃 君 妻の誕生日祝いを頂いて。
- ・田中 昭光 君 妻の誕生日祝いを頂いて。
- ・小倉 篤高 君 早退致します。



—卓話— 橋本 健司 会員

ロータリークラブの歴史と活動について卓話をして頂きました。

—クラブ発足当初の思い出—

当時の会長、副会長、幹事の紹介や、最初の認可会員数、チャーターメンバーの緊張した様子、ガバナーの訪問時に起きたエピソードについてお話をありました。

—会員数の変遷と活動—

クラブの歴史の中で、会員数がどのように変化してきたかについて話がありました。

各会長時代の会員数や、最多時の会員数が紹介されました。

また、家族同伴の旅行やイベントでの思い出深いエピソードが語られ、会員同士の絆の深まりについてお話しもありました。

—出席率の重要性と課題—

発足当時は、出席率が60%を割ると除名処分になるほど厳しかったことが述べられました。

会員同士の交流を深めるための試みとして、炉辺会談が行われていたことが紹介された一方で、現代では仕事の都合で出席が難しい会員もいることは課題であるとのお話もありました。

—新入会員の勧誘と今後の展望—

新たな会員勧誘の重要性が説かれ、医療関係者の入会が期待される旨のお話がありました。

また、会員同士の交流を深めることで、クラブの価値が高まり、楽しい会となること、他方で、退会者への対応も課題として挙げられ、退会希望をした会員の説得も必要であるとお話がありました。



◆編集 週報委員会 担当 柳 新次